

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
 【発行日】平成28年2月4日 (2016.2.4)

【公開番号】特開2014-119534(P2014-119534A)  
 【公開日】平成26年6月30日 (2014.6.30)  
 【年通号数】公開・登録公報2014-034  
 【出願番号】特願2012-273206(P2012-273206)  
 【国際特許分類】

G 0 3 G 21/18 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 G 15/00 5 5 6

【手続補正書】

【提出日】平成27年12月10日 (2015.12.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像形成装置の装置本体に着脱可能であって、前記画像形成装置の画像形成処理の一部を行うためのプロセスカートリッジであって、

現像剤の像を担持するための感光体ドラムを有し、前記感光体ドラムを回転可能に支持するための感光ユニットと、

前記感光体ドラムに現像剤を供給する現像ローラと、前記現像ローラに供給するための現像剤に作用する駆動ローラと、前記現像ローラおよび前記駆動ローラを回転駆動するために前記プロセスカートリッジの外部からの回転駆動力を受ける被駆動部と、を回転可能に支持し、前記プロセスカートリッジが前記装置本体に装着された状態で、前記感光体ドラム及び現像ローラよりも重力方向下側に位置する所定の回転軸を中心に前記感光ユニットに対して回転可能であって、前記所定の回転軸を中心として第 1 の回転方向に回転することで前記現像ローラを前記感光体ドラムに当接させ、前記第 1 の回転方向とは逆の第 2 の回転方向に回転することで前記現像ローラを前記感光体ドラムから離間させるように支持された現像ユニットと、

を有し、

前記現像ユニットはその自重により前記第 2 の回転方向に付勢されており、

前記駆動ローラの回転軸に設けられた前記被駆動部が前記外部からの回転駆動力を受けて回転する方向と、前記第 1 の回転方向とが同一の方向であり、前記現像ローラが前記感光体ドラムに当接した状態で前記被駆動部から前記現像ユニットに前記第 1 の回転方向に回転させる回転力が加わるように構成されたことを特徴とするプロセスカートリッジ。

【請求項 2】

前記駆動ローラは、前記現像ローラに現像剤を供給する現像剤供給ローラであることを特徴とする請求項 1 に記載のプロセスカートリッジ。

【請求項 3】

前記第 1 の回転方向に前記現像ユニットを付勢する付勢手段を有し、

前記外部から前記現像ユニットが力を受けていないときは、前記付勢手段により前記現像ユニットが付勢されて、前記現像ローラと前記感光体ドラムが当接し、離間手段により前記現像ローラと前記感光体ドラムとが離間することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載のプロセスカートリッジ。

## 【請求項 4】

請求項 1 乃至請求項 3 のうちのいずれか一項に記載のプロセスカートリッジと、前記装置本体と、を有することを特徴とする画像形成装置。

## 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

上記目的を達成するための本発明に係る代表的な構成は、画像形成装置の装置本体に着脱可能であって、前記画像形成装置の画像形成処理の一部を行うためのプロセスカートリッジであって、現像剤の像を担持するための感光体ドラムを有し、前記感光体ドラムを回転可能に支持するための感光ユニットと、前記感光体ドラムに現像剤を供給する現像ローラと、前記現像ローラに供給するための現像剤に作用する駆動ローラと、前記現像ローラおよび前記駆動ローラを回転駆動するために前記プロセスカートリッジの外部からの回転駆動力を受ける被駆動部と、を回転可能に支持し、前記プロセスカートリッジが前記装置本体に装着された状態で、前記感光体ドラム及び現像ローラよりも重力方向下側に位置する所定の回転軸を中心に前記感光ユニットに対して回転可能であって、前記所定の回転軸を中心として第 1 の回転方向に回転することで前記現像ローラを前記感光体ドラムに当接させ、前記第 1 の回転方向とは逆の第 2 の回転方向に回転することで前記現像ローラを前記感光体ドラムから離間させるように支持された現像ユニットと、を有し、前記現像ユニットはその自重により前記第 2 の回転方向に付勢されており、前記駆動ローラの回転軸に設けられた前記被駆動部が前記外部からの回転駆動力を受けて回転する方向と、前記第 1 の回転方向とが同一の方向であり、前記現像ローラが前記感光体ドラムに当接した状態で前記被駆動部から前記現像ユニットに前記第 1 の回転方向に回転させる回転力が加わるように構成されたことを特徴とする。